

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年10月31日(2022.10.31)

【公開番号】特開2021-159447(P2021-159447A)

【公開日】令和3年10月11日(2021.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2021-049

【出願番号】特願2020-65569(P2020-65569)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月21日(2022.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動口への入球に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として大当たり図柄が停止表示されることで大当たり状態に制御可能な遊技機において、

図柄の変動表示の結果として前記大当たり図柄とは異なる特定図柄が停止表示されることで、前記大当たり状態を介することなく、前記大当たり状態とは異なる特定状態に制御する特定状態制御手段と、

所定の演出制御を実行する演出制御手段と、
を備え、

前記特定図柄が停止表示された場合であっても前記特定状態への移行が行われない特定図柄無効期間を発生可能であり、

前記演出制御手段は、前記特定図柄の停止表示に対応する特定演出を実行可能であるが、前記特定図柄無効期間に前記特定図柄が停止表示された場合には、前記特定演出を実行しない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0007】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

始動口への入球に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として大当たり図柄が停止表示されることで大当たり状態に制御可能な遊技機において、

図柄の変動表示の結果として前記大当たり図柄とは異なる特定図柄が停止表示されることで、前記大当たり状態を介することなく、前記大当たり状態とは異なる特定状態に制御する特定状態制御手段と、

所定の演出制御を実行する演出制御手段と、
を備え、

前記特定図柄が停止表示された場合であっても前記特定状態への移行が行われない特定

50

図柄無効期間を発生可能であり、

前記演出制御手段は、前記特定図柄の停止表示に対応する特定演出を実行可能であるが、前記特定図柄無効期間に前記特定図柄が停止表示された場合には、前記特定演出を実行しない

ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上記構成では、図柄の変動表示の結果として大当たり図柄とは異なる特定図柄が停止表示されることで、大当たり状態を介することなく特定状態に制御可能であるとともに、特定図柄無効期間を発生可能にしたことで、遊技興趣の低下を抑制することができる（例えば、段落2160～2188、図201～202等の記載を参照）。

10

20

30

40

50